

中の人物は、舊規調習は野心満々たる男に、  
甲午三月に所令謀略に立候補したる事あり、  
是者より有聲帯に扱ふ如とす、是と共に政治的  
は勢力を擴張せんとす、過激一歩あり、極に是を  
政界に對し大なる期待を持たし、あるも何事にも  
此一視をからしむからしむる男とて、中央の態度、其他  
聯合の態度を攻撃し、表面上は之を輕蔑せしむ、  
其を弄して死す。

一〇、資力家の態度

固執一節は、滋賀縣人に、大向きの工場は支